



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 リソルホールディングス株式会社  
 コード番号 5261 URL <https://www.resol.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今泉 芳親  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 大澤 勝 TEL 03-3344-8821  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	15,987	△0.7	548	△44.9	420	△51.1	276	△48.8
29年3月期第3四半期	16,101	△1.9	994	△16.5	859	△20.0	539	△37.4

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 283百万円 (△48.2%) 29年3月期第3四半期 546百万円 (△36.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	49.73	—
29年3月期第3四半期	97.03	—

(注) 平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	30,613	11,865	38.7	2,130.75
29年3月期	32,011	11,864	37.0	2,131.33

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 11,835百万円 29年3月期 11,840百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	△1.2	1,300	△28.5	1,700	3.6	1,400	6.2	252.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	5,564,200株	29年3月期	5,564,200株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	9,530株	29年3月期	8,946株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	5,555,169株	29年3月期3Q	5,555,387株

(注) 平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来性に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び連結業績予想について)

当社は、平成29年6月29日開催の第124回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。なお、株式併合を考慮しない平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

1. 平成30年3月期の配当予想  
1株当たり配当金 期末 5円00銭
2. 平成30年3月期の連結業績予想  
1株当たり当期純利益 通期 25円20銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績の改善、設備投資や所得・雇用環境の改善が続き、緩やかな回復基調が続いてまいりましたが、実質賃金の伸び悩みから個人消費にも停滞感があることや、米国の政策動向、地政学的リスクの高まりやアジアを中心とした新興国経済の減速等、依然として先行きの不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループでは、各事業において施設リニューアル、新運営スタイル、新しい商品サービスなどお客様の顧客満足度の向上を図るために、「新しいリソルスタイルの構築」に取り組みました。

ホテル運営事業では、“くつろぎサービス”でホテルリソルブランドの強化を図るとともに、ビジネス・観光需要の取り込みやインバウンドの集客強化、ハード・ソフトの品質改善および拡充に努めた結果、宿泊客数は前年を上回り、ホテル全体の稼働率・単価が順調に推移いたしました。

ゴルフ運営事業では、より幅広い利用者を取り込むため積極的に新しい施策に取り組みました。「南栃木ゴルフ倶楽部」をリ・スタイルオープンしコストパフォーマンスで満足度向上させるなど新しいサービスの提供に努めるとともに、ゴルフ以外の楽しみ方を提案する「バンケット事業」強化によりレストランの一般利用の増加を図るなど集客強化に努めました。

開発事業においては、投資再生不動産としてバリューアップした販売用不動産の売却を行いました。再生エネルギー事業では、広島県の売電が順調に推移するとともに、福島県でも約35メガワット大型の開発を進めております。地域創生推進事業では、リソルグループ・長柄町・千葉大学が連携して進めている「大学連携型C R C」のグランドデザイン作成に着手するとともに、千葉大学予防医学センター近藤克則教授監修のもと、健康寿命延伸を目的とした「ウェルネスエイジクラブ」をスタートいたしました。

福利厚生事業では、働く人々の「健康・幸せ」をサポートメニューと、「コト商品・体験プラン」の商品開発の拡充を図り、「健康経営®」支援メニューを拡大するとともに、グループ施設のタイムリーでお得な情報を伝えるWEBサービス（スマホ対応）を開始し、更なる利用率向上を図りました。

リゾート関連事業では、保養所等のリゾート不動産の人気エリアの情報収集を強化し、販売および取得ニーズの収集に努めました。

以上により、当第3四半期連結累計期間は、売上高は、15,987百万円（前年同期比0.7%減）となりました。前期に運営を終了した施設の減少や福利厚生事業の新システム開始に伴う告知・キャンペーン、事務所移転などの一時的な経費の増加、売却を見込んだ販売用不動産の第4四半期への持ち越し等により経常利益は、420百万円（前年同期比51.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は276百万円（前年同期比48.8%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、30,613百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,397百万円減少しております。これは主に売掛金、販売用不動産の減少等によるものであります。負債につきましては、18,748百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,398百万円減少しております。これは主に1年内返済予定の長期借入金、預り保証金の減少等があったことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期の業績は、予定通り推移しており、平成29年5月12日に公表しました「平成29年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,697,929	1,674,818
売掛金(純額)	1,696,323	1,046,148
商品	123,139	117,846
販売用不動産	3,170,331	2,033,529
貯蔵品	64,541	92,502
未収入金(純額)	187,499	515,114
その他(純額)	1,164,236	1,237,577
流動資産合計	8,104,002	6,717,537
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	4,302,344	4,191,588
土地	14,530,218	14,531,313
その他(純額)	815,652	788,764
有形固定資産合計	19,648,214	19,511,666
<b>無形固定資産</b>		
のれん	1,624,028	1,519,610
その他	552,824	562,291
無形固定資産合計	2,176,853	2,081,901
<b>投資その他の資産</b>		
投資その他の資産合計	2,081,944	2,302,438
固定資産合計	23,907,012	23,896,006
資産合計	32,011,014	30,613,544

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	578,462	662,061
短期借入金	800,000	1,700,000
1年内返済予定の長期借入金	4,275,547	2,034,780
未払法人税等	189,521	39,942
賞与引当金	147,406	94,100
役員賞与引当金	15,000	—
その他	2,145,908	1,881,789
流動負債合計	8,151,845	6,412,673
固定負債		
長期借入金	5,034,320	5,571,115
預り保証金	5,496,978	5,293,728
退職給付に係る負債	532,304	528,487
従業員特別補償引当金	103,500	63,949
資産除去債務	105,755	100,894
その他	722,031	777,541
固定負債合計	11,994,890	12,335,716
負債合計	20,146,735	18,748,390
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,948,088	3,948,088
資本剰余金	2,401,700	2,401,700
利益剰余金	5,221,864	5,220,358
自己株式	△19,762	△22,077
株主資本合計	11,551,890	11,548,069
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,182	35
土地再評価差額金	299,476	299,476
退職給付に係る調整累計額	△13,482	△11,987
その他の包括利益累計額合計	288,176	287,525
非支配株主持分	24,212	29,559
純資産合計	11,864,279	11,865,153
負債純資産合計	32,011,014	30,613,544

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	16,101,987	15,987,740
売上原価	5,215,621	6,142,657
売上総利益	10,886,365	9,845,083
販売費及び一般管理費	9,891,798	9,296,623
営業利益	994,566	548,460
営業外収益		
受取利息	89	1,318
債務消却益	2,510	915
受取保険金	13,340	4,063
投資事業組合等利益	708	-
その他	37,420	38,037
営業外収益合計	54,069	44,334
営業外費用		
支払利息	105,708	79,884
支払手数料	47,403	54,213
その他	35,850	38,595
営業外費用合計	188,962	172,693
経常利益	859,674	420,100
特別利益		
固定資産売却益	6,337	-
営業補償金	109,760	-
違約金収入	40,000	-
特別利益合計	156,097	-
特別損失		
事業所整理損	-	9,493
固定資産除却損	4,780	1,825
従業員特別補償引当金繰入額	-	9,540
会員権買取消却損	76,731	-
減損損失	33,786	-
貸倒引当金繰入額	82,999	-
解約違約金	-	62,131
その他	8,869	3,498
特別損失合計	207,168	86,488
税金等調整前四半期純利益	808,603	333,612
法人税、住民税及び事業税	114,100	85,786
法人税等調整額	153,328	△33,777
法人税等合計	267,429	52,008
四半期純利益	541,173	281,603
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,133	5,347
親会社株主に帰属する四半期純利益	539,040	276,256

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	541,173	281,603
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,110	21
退職給付に係る調整額	1,838	1,495
土地再評価差額金	△169	—
その他の包括利益合計	5,779	1,516
四半期包括利益	546,953	283,119
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	544,820	277,772
非支配株主に係る四半期包括利益	2,133	5,347

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(表示方法の変更)

(四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間において区分掲記しておりました「営業外収益」の「受取賃借料」及び「特別損失」の「和解金」は金額的重要性が乏しくなったため、当第3四半期連結累計期間より「営業外収益」の「その他」及び「特別損失」の「その他」に含めて表示しております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において「営業外収益」の「受取賃借料」に表示していた9,929千円は、「営業外収益」の「その他」に表示していた27,490千円から37,420千円に、「特別損失」の「和解金」に表示していた5,418千円は、「特別損失」の「その他」に表示していた3,451千円から8,869千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注①)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注②)
	ゴルフ 運営事業	ホテル 運営事業	開発事業	福利厚生 事業	リゾート 関連事業	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	7,323,693	6,479,132	861,292	808,173	629,695	16,101,987	—	16,101,987
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	7,323,693	6,479,132	861,292	808,173	629,695	16,101,987	—	16,101,987
セグメント利益 又は損失(△)	675,249	1,028,623	578,988	△354,623	△45,656	1,882,581	△888,014	994,566

(注) ①. セグメント利益又は損失(△)の調整額△888,014千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

②. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「リゾート関連事業」において、事業用資産について減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては33,786千円であります。

当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注①)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注②)
	ゴルフ 運営事業	ホテル 運営事業	開発事業	福利厚生 事業	リゾート 関連事業	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	6,535,373	6,399,118	1,791,872	757,392	503,984	15,987,740	—	15,987,740
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	6,535,373	6,399,118	1,791,872	757,392	503,984	15,987,740	—	15,987,740
セグメント利益 又は損失(△)	589,829	1,011,347	550,852	△639,234	△28,924	1,483,870	△935,410	548,460

(注) ①. セグメント利益又は損失(△)の調整額△935,410千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

②. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。